

日本たばこ産業（ＪＴ）は今年の組織再編で、県内は３営業所体制から岐阜第一（岐阜、大垣地域）と岐阜第二（多治見、飛騨地域）の２支店体制となった。健康志向の高まりなどから市場規模の縮小が続く中で、再編は消費者ニーズの多様化に柔軟に対応する狙いがある。ともに新任の第一の谷原祐一支店長（50）、第二の林進司支店長（50）にそれぞれ戦略などを聞いた。

―岐阜県の特徴は。

谷原 県域が非常に広い。地域ごとの対応が不可欠。組織再編で権限の一部も委譲されたため、２支店体

J T 県内 2 支店長に戦略聞く

谷原祐一・第一支店長 付加価値高い商品を

林 進司・第二支店長 売り場品質向上図る

制で地域特性に合わせたより迅速に細やかな対応に取り組める。

林 タールが１ミリと軽く、われわれがサブプレミアムと呼ぶ420円価格帯の商品の

―戦略は。

谷原 販売量は全国と同様に減少傾向。付加価値の高い商品を提供して満足度を高めた。具体的には、臭いのつかない商品とかパッケージの改良等。吸う人と吸わない人の共



今後の県内戦略について語る谷原祐一岐阜第一支店長（右）と林進司岐阜第二支店長＝岐阜市鶴田町

存も欠かせない、大人域と連携して現在、県場での喫煙所設置も進めたい。

林 販売の8割を占めるコンビニエンス

トアの商品構成やレイアウトに、トレードメーカーと称する営業担当者がお伺いして提案したり、たばこ店などお得意さまの売り場品質の向上も図って

（久松孝志）

―地域貢献活動に力を入れている。

谷原 中津川市蛭川の「JTの森」は2008年に岐阜県と森林保全協定を締結して活動を続け、地域との交流も深まっている。

林 今月も未成年者への喫煙防止キャンペーンをJR高山駅前で行う予定。ゴミ拾い活動なども定着してきた。今後こうした活動を強化したい。

略 歴

谷原 祐一氏（たはら ゆういち）83年日本専売公社（現日本たばこ産業）東京中央部営業部長、埼玉支店川越営業部長などを経て、15年4月から岐阜第一支店長、静岡県出身。

林 進司氏（はやし しんじ）83年日本専売公社（現日本たばこ産業）高知県中村営業部長などを経て、15年4月から岐阜第二支店長、徳島県出身。